

科目名	工芸科指導法		科目コード	5011	
開講学科	教職課程	単位数	2	形態	講義
教員名	石津 勝				
授業の目的及びテーマ					
工芸及び工芸科教育についての概説に始まり、これからの工芸科教育の目標や在り方などについて考察した上で、具体的な授業設計や学習指導案を作成できるなど、学校現場に於いて実際に活かせる授業実践力を獲得する。					
授業概要					
生活と密接な関係にある工芸及び今日までの工芸科教育はどのように行われてきたか、そして、これからの工芸科教育はいかにあるべきかについて、学習指導要領の理解をはじめ多様な実践例に基づき、題材の選択、素材とのかかわり、制作と技法、道具・機械等の安全指導、評価などについて総合的に考察する。同時に身近な素材を使つての教材研究を行い、学習指導案を作成し、指導方法などについても具体的に考察する。					
授業計画					
授業計画 通信：第1回～第15回 面接：第16回～第30回 第1回：授業概要及び学習指導について 第2回：つくる喜び～生活の中の工芸 第3回：暮らしのかたち 第4回：美しい造形へ～美の秩序について～ 第5回：観察と立体表現 第6回：考える～ものづくりのデザインについて～ 第7回：機能と造形～形態の成り立ち～ 第8回：機能と造形～構造の基本、部材が受ける荷重～ 第9回：さまざまな成形～成形の原理、除去の成形、変形の成形、付加の成形～ 第10回：さまざまな成形～材料と成形加工法～ 第11回：つくる技術～作り出す技術と工芸の特色～ 第12回：つくる技術～手でつくる、機械でつくる～ 第13回：材料の魅力～材料の特性になつた造形の意味～ 第14回：材料の魅力～工芸の役割とは何か～ 第15回：課題への取り組み：課題解説を読み、課題を作成する 第16回：工芸及び工芸科教育、工芸科教育の目標（学習指導要領解説など）についての概説と考察 第17回：教科書の解説と模擬授業1・刈インテ-ション／つくる喜び・暮らしのかたち・身近な生活環境と工芸（情報機器及び教材を効果的に活用、および、模擬授業の振り返りと改善の考察） 第18回：教科書の解説と模擬授業2・観察から表現／生活を観察する・美しい造形へ・観察と表現・考える（情報機器及び教材を効果的に活用、および、模擬授業の振り返りと改善の考察）		第19回：教科書の解説と模擬授業3・造形の機能と構造／機能と造形（にぎる・つつむ）・構造と造形（すわる・あかり） 第20回：教科書の解説と模擬授業4・造形の成形と色彩／つくる技術・材料の魅力・テクニ-ャー・色彩について（情報機器及び教材を効果的に活用、および、模擬授業の振り返りと改善の考察） 第21回：教科書の解説と模擬授業5・つくる 材料と技法／木でつくる・土でつくる・編む・染める（情報機器及び教材を効果的に活用、および、模擬授業の振り返りと改善の考察） 第22回：学習指導案及び年間指導計画案についての解説と考察 第23回：課題制作と学習指導案の作成（教材研究）竹箸をつくる1／導入説明・発想・材料取り・削る・研磨する・装飾する・仕上げ 第24回：課題制作と学習指導案の作成（教材研究）竹箸をつくる2／鑑賞・まとめ 第25回：学習指導案に沿って、課題（竹箸をつくる）の提出・発表・考察を行う（情報機器及び教材の効果的な活用と実践へ 理解を深める） 第26回：課題1制作と学習指導案の作成（教材研究）オリジナル立体カード1／導入説明・既成型紙での試作・発想・デザイン・試作・本制作 第27回：課題制作と学習指導案の作成（教材研究）オリジナル立体カード2／鑑賞・まとめ 第28回：課題（オリジナル立体カード）の学習指導案の提出・発表・考察 第29回：工芸科教育の鑑賞及び評価、環境（教室など）について 第30回：本授業のまとめ（模擬授業の振り返りと改善検討を含む）			
テキスト	高等学校 工芸1」教科書 小松 敏明 他（日本文教出版）	参考文献	高等学校 工芸1 教授資料」 長濱 雅彦他（日本文教出版） 高等学校学習指導要領解説・芸術編（文部科学省）		
評価方法：					
課題提出2課題及び筆記試験 面接：提出物・発表・課題及びレポート					